

【第5章 解体撤去工事仕様 目次】

第1節 計画基本事項	5-1
第2節 解体工事範囲	5-2
5-2-1. 解体対象物の概要	5-2
5-2-1-1. 工場棟（岡南環境センター）	5-2
5-2-1-3. 岡南環境センター 付属建物	5-28
5-2-1-4. 敷地内外構設備	5-28
5-2-2. 工事基本方針	5-29
5-2-3. 工事の範囲	5-29
5-2-3-1. 解体撤去範囲	5-29
5-2-3-2. 事前調査	5-29
5-2-3-3. 解体撤去工事に伴う付着物等除去作業	5-34
5-2-3-4. 解体材等の処理、運搬、処分	5-34
第3節 解体撤去工事	5-36
5-3-1. 解体撤去工事フロー（参考）	5-36
5-3-2. 解体撤去工事の実施計画	5-37
5-3-3. 解体撤去工事の安全対策	5-37
5-3-3. 仮設工事	5-38
5-3-3-1. 密閉養生及び流出防止対策	5-38
5-3-3-2. 仮設集じん設備の設置と運用	5-38
5-3-3-3. 除染用仮設水処理設備	5-39
5-3-3-4. 建屋内足場及び機器解体用足場	5-39
5-3-3-5. 解体ヤード及び前室	5-39
5-3-3-6. 解体発生材選別仮置きヤード	5-39
5-3-3-7. クリーンルーム	5-39
5-3-4. 除染工事	5-40
5-3-5. 汚染物除去等の確認とモニタリング	5-40
5-3-5-1. 除染後の付着物確認	5-40
5-3-5-2. 仮設集じん設備での連続監視と濃度測定	5-41
5-3-5-3. 除染用仮設水処理設備の処理水	5-41
5-3-5-4. 敷地境界での騒音・振動測定	5-41
5-3-5-5. 施工中・施工後の作業環境測定	5-41
5-3-5-6. 施工開始前・施工中・解体撤去工事終了後の周辺大気測定	5-41
5-3-5-7. 施工開始前・解体撤去工事終了後の周辺土壌測定	5-42
5-3-6. 解体工事	5-42
5-3-6-1. 主要機器の解体	5-42
5-3-6-2. 石綿含有建材の解体	5-42
5-3-6-3. 汚染部分・非汚染部分の建屋・構造物等の解体	5-42
5-3-6-4. 地下部分の構造物の解体	5-42
5-3-6-5. 煙突解体	5-42
5-3-6-6. 廃棄物処理（特定建設資材含む）	5-42

第5章 解体撤去工事仕様

第1節 計画基本事項

解体撤去工事は、本件施設の設計に十分配慮した計画とし、解体範囲に示す既存建物、既存構造物、既存外構設備等（以下「解体対象物」という。）を解体撤去し、解体廃棄物の適正な処理処分を計画する。計画に当たっては、周辺環境及びばく露防止に配慮し計画する。

また、岡南環境センターは、令和3年2月28日までごみの受け入れを行い、3月中旬を目安に施設の稼働を停止する。その後解体撤去工事の着手までの間に、施設内のごみ類、灰類、廃油、廃液、汚泥、廃酸、廃アルカリ、排水等を除去する清掃業務を実施する。施設内にごみ類、灰類、廃油、廃液、廃酸・廃アルカリ、排水等が残留している場合は事業者にて全て取り出し、適正に処理・処分すること。残灰や付着物は解体工事に伴って発生する廃棄物とし、産業廃棄物または特別管理産業廃棄物として適正に処理・処分すること。また、施設内の什器備品類についても撤去済みの状態とする。ただし、ピット内残留物については人員による除去、槽内残留物についてはポンプによる排出、装置内残留物については装置本体の空運転による排出程度であることに留意する。

また、岡南環境センターの引き渡しは令和4年4月1日とするが、前述の清掃業務は引き渡し後も実施する予定である（3か月程度を目安とする）。引き渡し後も清掃業務を行う場合、清掃業務期間中の上下水道等の役務費は岡山市の所掌とする。ただし、現状、地下室内等に生じたクラックから地下水が内部に漏水しており、その排水をポンプで排水処理設備へ移送しているため、このポンプは解体工事着手後も稼働し続ける必要がある。当該ポンプや脱臭ファン等の稼働、鍵の管理等の施設の維持に必要な業務は引き渡し時点から事業者の所掌とし、岡山市が実施する清掃業務に必要な応じて協力すること。また、清掃業務終了後は速やかに解体工事に着手すること。

解体撤去工事に際しては、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」（以下「ばく露防止対策要綱」という。）、「廃棄物焼却施設解体作業マニュアル」を遵守して、解体工事における作業者のダイオキシン類ばく露防止対策の徹底を図るとともに、周辺地域に対する安全にも十分配慮して行うものとする。

その他、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「土壤汚染対策法」、「廃棄物処理施設解体時等の石綿飛散防止対策マニュアル」、「建築物等の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」、「大気汚染防止法」、石綿関連の関係法令、規則等を順守すること。また、要求水準書第Ⅰ編に記載されていない事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書」による。

第 2 節 解体工事範囲

5-2-1. 解体対象物の概要

5-2-1-1. 工場棟（岡南環境センター）

岡南環境センターは昭和 53 年度に竣工し、平成 12～14 年にかけて灰固形化施設を新設している。また、平成 25～27 年度にかけて施設延命化のための基幹改良工事を実施している。

(1) 竣工年月 昭和 53 年 12 月

(2) 施設概要

①処理方式 ストーカ式焼却炉・テルミット式灰溶融炉（停止中）

②処理能力 220 t / 日（110 t / 炉×2 炉）・26t / 日（26t / 炉）

③建築仕様表 5-2-1 参照

④設備概要表 5-2-2 参照

表 5-2-1 工場棟の概要

岡南環境センター

建築物概要			
工場棟	構造	SRC 造、RC 造及び S 造	
	階数	地上 4 階 地下 2 階	
	基礎	杭基礎、布基礎及びべた基礎	
	軒高	GL+20.6 m	
	最高高さ	GL+21.8 m	
	床面積		
	B2 階	2,421.42 m ²	
	MB2 階	2,481.04 m ²	
	B1 階	4,230.55 m ²	
	1 階	4,057.14 m ²	
	2 階	1,603.38 m ²	
	3 階	944.62 m ²	
	4 階	36.53 m ²	
	合計	15,774.68 m ²	
	建築面積 合計	4,933.98 m ²	
煙突	外筒構造	RC 造独立煙突	
	階数	—	
	基礎	べた基礎	
	煙突高さ	GL+56.5m	
	外寸	6.31m（GL±0）	
	床面積	約 21m ²	
	建築面積	約 196 m ²	

表 5-2-2 設備概要（受入供給設備）

プラント設備仕様構成等			
トラックスケール	①本体 型式 L24P 秤量 20t 載台寸法 幅 6.5m×長 2.7m ②計量部型式 LP-700 ③ロードセル型式 KCC21・12・U	2 台	
ごみ投入扉	型式 観音式扉 寸法 幅 3.8m×高 6.07 m	7 面	

表 5-2-2 設備概要（受入供給設備）			
プラント設備仕様構成等			
ダンピングボックス	型式 油圧駆動式 寸法 幅 3.8m×奥行 3.7m深さ 2.875m	1 面	
ごみ投入扉油圧装置	形式 油圧駆動式 要項 ・油圧ポンプ ①形式 可変容量型ポンプ ②数量 2 台 ③吐出圧力 約 10MPa ④駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 15kW	1 基	
粗大ごみ破砕機	型式 150SW 型 機器寸法 幅 1.37m×高さ 3.31m 機器重量 4.7t（油含まず） 処理能力 70m³/h ポンプ用電動機 形式 開放防滴形 能力 75kW×6P×440V	1 基	
ごみ供給クレーン	（１）本体 形式 フォーク型油圧バケット付天井クレーン 定格荷重 2 t （２）巻上装置 ①形式 最終段オープン、2 ドラム 1 電動機方式 ②吊上荷重 4 t 900（2.0t+2.9t） ③揚程 28,000mm ④電動機 63 k W 8P 60%ED カゴ形 1 台 ⑤制御機 交流電磁ブレーキ 1 台 （３）横行装置 ①形式 前段オイルバス 1 電動機方式 ②レールゲージ 1,800mm ③横行距離 13,050mm ④電動機 2.2kW 6P 40%ED カゴ形 1 台 ⑤制動機 ディスク形電磁ブレーキ （４）走行装置 ①形式 前段オイルバス 2 電動機方式 ②スパン 17,000mm ③走行距離 約 45,000mm ④電動機 3.7kW 6P 40%ED カゴ形 2 台 ⑤制動機 ディスク形電磁ブレーキ 2 台 （５）クレーン計量装置 ①形式 4 点支持圧縮形ロードセル方式	2 式	
ごみクレーンバケット	形式 フォーク型 容量 4.0 m³（切取 6.1 m³） 材質 本体：SS400 爪：SCM440 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 15kW	2 基	
ごみピット	幅：10m、長さ：29.5m、深さ：14m 容量：約 4,130m³		

表 5-2-2 設備概要（燃焼設備）			
プラント設備仕様構成等			
ごみ投入ホッパ	形式 特殊形状溶接鋼板製 有効容量 約 20 m³ 投入口寸法 巾 4,870m×奥行 5,400m シュート出口寸法 巾 2,250mm×奥行 1,521mm	2 基	
焼却炉本体	形式 全連続ストーカ 主要項目（1 基につき） 1）火床面積 32.38m² 2）燃焼室容積 第 1 燃焼室：125m³ 第 2 燃焼室：122m³ 3）主要寸法 炉床部：幅 2.25m×奥行 12m		

表 5-2-2 設備概要（燃焼設備）			
プラント設備仕様構成等			
	4) 主要材質 築炉材：耐火煉瓦 ケーシング：SS400×板厚 3.2mm		
焼却炉築炉	耐火物築炉 形式 横形煉瓦積鋼板囲式 炉巾 内側 2,250mm 外側 3,200mm 燃焼室容積 第1燃焼室 約 125 m ³ 第2燃焼室 約 122 m ³	2 炉分	
燃焼装置用油圧装置	形式 油圧駆動式 ・油圧ポンプ 型式 容積式ポンプ 材質 シャフト：S45C、ケーシング：FC250 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 3.7kW	8 基 4 基/炉分	
給じん装置下部落下灰シュート	形式 特殊形状溶接鋼板製 材質 SS400 板厚 6mm	2 基 (1 基/炉)	
乾燥ストーカ下部落下灰シュート	形式 特殊形状溶接鋼板製 材質 SS400	2 基 (1 基/炉)	

表 5-2-2 設備概要（通風設備）			
プラント設備仕様構成等			
押込送風機	形式 片吸込ターボ型遠心ファン 風量 550m ³ /min 静圧 2.75kPa 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 45kW 極数 4P 電源 400V、60H z	2 基 (1 基/炉)	
二次燃焼用送風機	形式 片吸込ターボ型遠心ファン 風量 300m ³ /min 静圧 3.43kPa 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 30kW 極数 4P 電源 400V、60H z	2 基 (1 基/炉)	
誘引通風機	形式 片吸込ターボ型遠心ファン 風量 1500m ³ /min 静圧 3.04kPa 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 インバータ対応 出力 132kW 極数 6P 電源 400V、60H z	2 基 (1 基/炉)	
空気予熱器	形式 ダンパー式空気混合温度調節方式 主要項目 1) 形式 バタフライ式 2) 材質 SS400	2 基	
風道	形式 鋼板製溶接構造 材質 SS400 板厚 3.2mm	1 式	
煙道	(1) ダクト (バグフィルターから誘引通風機) 形式 溶接鋼板製 材質 SS400 (t=4.5mm) (2) ダクト (誘引通風機から煙突) 形式 溶接鋼板製 材質 SS400 (t=4.5mm)	各 1 式	
ダンパ装置	形式 バタフライ式 駆動装置 エアシリンダ駆動又はコントロールモータ駆動		

表 5-2-2 設備概要（通風設備）			
プラント設備仕様構成等			
煙突	高さ 頂部口径	56.5m 2.665m	

表 5-2-2 設備概要（助燃設備）			
プラント設備仕様構成等			
送油ポンプ	形式 能力	手動直結ギヤーポンプ 1,800l/h×3kg/cm ² ×0.75kW	3 台
重油バーナ	形式 能力	ロータリーバーナ 310l/h×2.2kW	3 台
重油ストレージタンク	形式 能力	全溶接鋼板製地下埋没横型 10,000l	3 台

表 5-2-2 設備概要（燃焼ガス冷却設備）			
プラント設備仕様構成等			
廃熱ボイラ	形式 要項（1 基につき） 伝熱面積（ボイラ本体） 主要部材	廃熱ボイラ（自然循環式） 約 1,320m ² STB340S	2 基 (1 基/炉)
廃熱ボイラ ダスト コンベヤ	形式 搬送能力 主要部材 輸送距離 駆動用電動機 形式 出力 極数 電源	スクリーコンベヤ 200kg/h 2 号炉：SUS304 3 号炉：SUS304 約 4.4m 全閉外扇形 1.5kW 4P 400V、60Hz	2 基 (1 基/炉分)
廃熱ボイラ スート ブロー	形式 主要材質 駆動用電動機 形式 出力 極数 電源	電動長拔差型（リードスクリー駆動方式） 噴射管：SUS304、ノズル：SUS310S 全閉外扇型 0.4kW 4P 400V、60Hz	8 基 4 基/炉
廃熱ボイラ薬品注入 装置	(1) 清缶剤注入装置 タンク容量 タンク材質 駆動用電動機 形式 出力 極数 電源 (2) 防食脱酸剤注入装置 タンク容量 タンク材質 駆動用電動機 形式 出力 極数 電源	100L PVC 全閉外扇型 0.2kW 4P 400V、60Hz 100L PVC 全閉外扇型 0.2kW 4P 400V、60Hz	各 3 基
廃熱ボイラ連続ブロー 装置	流量 圧力	310kg/h 2.26MPa	2 基 (1 基/炉)
低圧蒸気復水器（熱交 換器本体）	低圧蒸気復水器形式 熱交換器本体 構造 電熱面積（フィン付き） 主要材質	強制通風式 堅型連立鉄骨フレーム支持 約 9,205m ² フィンチューブ：STB340S フィン：アルミニウム	1 基 4 基
低圧蒸気復水器（ファ ン及び駆動電動機）	低圧蒸気復水器形式 ファン本体及び駆動装置 ファン形式	強制通風式 軸流ファン	1 基 4 基

表 5-2-2 設備概要（燃焼ガス冷却設備）			
プラント設備仕様構成等			
	羽枚数 6 枚 ファン直径 約 3,658mmφ 主要材質 ファンプロペラ：アルミニウム 駆動用電動機（1 基につき） 形式 全閉外扇型 数量 1 台 出力 22kW 極数 6P 電源 400V、60Hz		
高圧蒸気コンデンサ	（1）冷却ファン（固定） 形式：ピッチファン 羽根径：3,657.6mmφ 羽根枚数：6 枚 電動機：22KW×440V×8P（全閉外扇屋外形） 数量：2 台 使用材料 羽根車：アルミ シャフト：S45C 段取付架台：SS41 他 （2）冷却ファン（可変） 形式：ピッチファン（自動可変） 羽根径：3,657.6mmφ 羽根枚数：6 枚 電動機：22KW×440V×8P（全閉外扇屋外形） 数量：2 台 使用材料 羽根車：アルミ シャフト：S45C 段取付架台：SS41 他 （3）ファンガード 形式：エキスパンドメタル式 口径：約 4,070mmφ 数量：4 組 使用材料 エキスパンドメタル：SS41 枠：SGP （4）エレメント 形式：フィンチューブボックス形 伝熱管外径：25.4mmφ 伝熱管肉厚：2.6mm 伝熱管長さ：約 10,000mm フィン外径：57.2mmφ 電熱面積：約 2,600m ² 数量：4 基 使用材料 伝熱管：STB35E-C フィン：アルミ 管寄せ：STPT42・SB42SR （5）エレメントシール盤 形式：SS 製鋼板 数量：1 式		
純水装置（陽イオン槽）	形式 軟鋼板製圧力式円筒型 内径×直線部高さ 500mm×1830h 有効断面積 0.196m ² 主要材質 SS400（板厚 側面 302mm 鏡面 3.2mm） 内面 3t ゴムライニング	1 基	
純水装置（陰イオン槽）	形式 軟鋼板製圧力式円筒型 内径×直線部高さ 650mm×1830h 有効断面積 0.3316m ² 主要材質 SS400（板厚 側面 3.2mm 鏡面 3.2mm） 内面：3t ゴムライニング	1 基	

表 5-2-2 設備概要（排ガス処理設備）

プラント設備仕様構成等				
バグフィルター（ろ布）	寸法 材質	内径 $\phi 152\text{mm}$ ×長さ 6,955mm 特殊ガラス繊維	910 本 (455 本/炉)	
減温塔	形式 構造 冷却室容積 材質 板厚	水噴射式完全蒸発型 STEN 鋼板製 外部保温構造 63m ³ （有効） STEN 6.0mm	2 基	
減温塔ガス冷却ポンプ	形式 流体 流体温度 吐出量 全揚程 電動機 主要材質	多段渦巻ポンプ 工水 20℃ 5.1 t / h 100m 5.5 k W ケーシング：FC250、インペラ：BC6 シャフト：S45C	3 台	
機器冷却ポンプ	形式 流体 流体温度 吐出量 全揚程 電動機 主要材質	多段渦巻ポンプ 工水 20℃ 21 t / h 40m 3.7 k W ケーシング：FC250、インペラ：BC6 シャフト：S45C	3 台	
噴霧ノズル	形式 所要水圧 噴霧水量 噴霧空気量 主要材質	二流体式 4.0kg/cm ² 450kg/h・本（MAX） 84Nm ³ /h・個 SUS316L	2 炉分 (8 本/炉)	
空気圧縮機	型式 吐出量 吐出圧力 所要電動機 主要機器 1) 本体 2) 駆動用電動機 3) 防音装置 4) アフタークーラ 5) エアドライヤ 形式 冷凍機出力 6) 空気層 構造 容量	防塵水冷式スクリー方式 16.5m ³ /min 0.69MPa 100kW×440V×4P 3 基 3 基 3 基 3 基 1 基 冷凍式 5.5kW 1 基 鋼板溶接構造 4.21m ³	3 基	
減温塔ダスト排出装置	型式 主要項目（1 基につき） 1) 寸法 2) 所要電動機 3) 排出口 4) 主要部材質 5) 付属品 ①排出ゲート 形式 駆動方法 ②制御盤 形式	サークルフィーダ式 外形 $\phi 1.5\text{m}$ ×高さ 0.5m 0.75kW×4P $\phi 0.3\text{m}$ 、2 箇所 フィーダ：SS400、 ケーシング：SS400 二重ダンパ式 1 式 エアシリンダ駆動 鋼板自立型	2 基	
消石灰吹込装置	形式 薬剤切出方式 付属品 ①攪拌機 所要動力 ②供給機 所要動力 ③ルーツブロウ（活性炭供給用と兼用） 吐出量 吐出圧力 所要動力	乾式 テーブルフィーダ 0.75 k W×1 台 0.4 k W×3 台 13.67m ³ /min 19.6kpa 11 k W×3 台		

表 5-2-2 設備概要（排ガス処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
	④輸送管（活性炭供給用と兼用） 形式 アース線入塩ビブレードホース 口径 125A		
消石灰貯留槽	型式 溶接鋼板製円筒管堅型 有効容量 80m ³ 主要項目 寸法 外径 φ3.4m×高さ 8.8m 材質 SS400 付属品 ①ベントフィルタ 形式 ろ過式 13m ³ ②重量計 形式 ロードセル式 ③レベル計 形式 パドル式（H,MIL 3箇所）	1 基	
活性炭吹込装置	形式 乾式 薬剤切出方式 テーブルフィーダ 付属品 ①攪拌機 所要動力 0.4 k W×1 台 ②供給機 所要動力 0.2 k W×3 台	1 基	
活性炭貯留槽	型式 溶接鋼板製円筒管堅型 有効容量 15m ³ 主要項目 寸法 外径 φ2.5m×高さ 3.4m 材質 SS400 付属品 ①ベントフィルタ 形式 ろ過式 13m ³ ②重量計 形式 ロードセル式 ③レベル計 形式 パドル式（H,MIL 3箇所）	1 基	
集じん装置	形式 乾式バグフィルタ 集じん面積 1,529m ² （ろ過面積） ろ布寸法 155mmφ×6.9m ろ布本数 455 本 主要材質 本体外壁：STEN、厚さ：4.5mm ろ布材：ガラス+PTFE リテーナー STEN 付属品 ①本体 1 式 ②入口ダンパ、バイパス切替 1 式 形式 エアシリンダ駆動式三方弁 ③ろ布自動逆洗装置 形式 パルスジェット式 ④排出装置 スクリュコンベヤ 0.75kW 1 基 ロータリーバルブ 0.4kW 1 基 ヒータ 0.4kW 1 式 ⑤ホッパー電熱ヒータ 1 式 形式 シーズヒータ 電力 55 k W ⑥ろ布加温設備 ヒータ容量 60 k W（40 k W+20 k W） 1 式 ブロワ 75m ³ /min×2.5KPa 7.5 k W	2 基	

表 5-2-2 設備概要（排水処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
ブロワー類	(1) 灰汚水槽攪拌ブロワ 形式：ロータリーブロワ 能力：3.5m ³ /min×2,500mmWG 電動機	2 台 2 台	

表 5-2-2 設備概要（排水処理設備）

プラント設備仕様構成等

[illegible]

表 5-2-2 設備概要（排水処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
	(15) 塩酸用ポンプ 形式：ダイヤフラムポンプ 能力：0～1,000 CC/min×0.2KW (16) 凝集助剤用ポンプ 形式：ダイヤフラムポンプ 能力：0～300 CC/min×0.2KW (17) 排水返送ポンプ 形式：マグネットポンプ 能力：1.5 t/h×7m 電動機 形式：全閉外扇形 能力：0.4 kW	2 台 2 台 2 台	
薬品タンク類	(1) 薬品貯槽 形式：鋼板製円筒横型 容量：5m ³ 寸法：1,500φ×3,000L (2) 薬品ヘッドタンク 形式：塩ビ製角形 容量：0.1m ³ 寸法：408φ×H617 (3) 苛性ソーダ溶解槽 形式：FRP 製 容量：500L (4) 凝集助剤溶解槽 形式：FRP 製 容量：500L (5) 塩酸溶解槽 形式：FRP 製 容量：500L	3 台 2 台 1 台 2 台 1 台	
散気装置及び攪拌機	(1) 灰汚水槽攪拌用散気装置 形式：散気管式 (2) 汚水貯槽攪拌用散気装置 形式散気管式 (3) PH 調整槽攪拌機 形式：可搬式	1 式 1 式 1 台	
凝集沈殿槽	形式：鉄筋コンクリート製円筒形槽 寸法：6 t/h×3,500φ×3,000H (1) 集泥機 形式：サーキュラーコレクター 能力：3m ³ /min×0.2 kW	1 槽	
ろ過機	形式：圧力式急速ろ過機械 能力：3m ³ /h	2 台	
吸着塔	形式：圧力式吸着塔 能力：3m ³ /h	2 台	
塵芥汚水蒸発装置	形式：蒸気加熱式蒸発装置 能力：500kg/h	1 台	

表 5-2-2 設備概要（余熱利用設備）			
プラント設備仕様構成等			
蒸気タービン電子ガバナ	形式 電子ガバナ+油圧式サーボ（電湯変換器型） 構成機器 ガバナコントローラ、AC サーボドライバ、 電子ガバナアクチュエータ、回転速度検出器、 その他必要な機器	1 式	

表 5-2-2 設備概要（灰出設備）			
プラント設備仕様構成等			
灰クレーンバケット	(No.1 灰クレーンバケット本体更新) 形式 クラムシェル型 バケット自重 約 2.0t バケット容量 1.5m ³ （切取 2.0m ³ ） バケット開閉方式 油圧開閉式 材質 本体：SS400、爪：SCM440 駆動用電動機（油圧装置用）	1 基 （全数 2 基）	

表 5-2-2 設備概要（灰出設備）			
プラント設備仕様構成等			
	形式 出力 極数 電源	全閉外扇型 11kW 6P 400V、60Hz	
灰クレーン駆動電動機	(No.1、No.2 灰クレーン用電動機更新) 形式 ①駆動用電動機（巻上） 形式 出力 極数 電源 ②駆動用電動機（横行） 形式 出力 極数 電源 ③駆動用電動機（走行） 形式 出力 極数 電源	全閉外扇型 30kW 6P 400V、60Hz 全閉外扇型 2.2kW 6P 400V、60Hz 全閉外扇型 3.7kW 6P 400V、60Hz	6 台（3 台/器）
灰クレーン制御盤	(1) 灰クレーン共用保護盤（更新） 形式 (2) 巻上・横行走行制御盤（更新） 形式	鋼板製屋内防塵垂直自立型 鋼板製屋内防塵垂直自立型	各 1 式

表 5-2-2 設備概要（給水設備）			
プラント設備仕様構成等			
冷凍機用冷却塔	形式 ①冷凍機用冷却塔本体 冷却能力 循環水量 材質 ②送風機 形式 駆動方式 駆動用電動機 形式 数量 出力 極数 電源	カウンターフロー式 799,800kcal/h(930.4kW) 100 t/h ケーシング：FRP、充填物：PVC 軸流送風機 モータ直結式 全閉外扇型 4 台 1.5kW（1 台当たり） 8P 400V、60Hz	1 基 4 台
機器用冷却塔	形式 ①機器用冷却塔本体 冷却能力 循環水量 材質 ②送風機 形式 駆動方式 駆動用電動機 形式 数量 出力 極数 電源	カウンターフロー式 682,200kcal/h(793.6kW) 130 t/h ケーシング：FRP、充填物：PVC 軸流送風機 モータ直結式 全閉外扇型 3 台 1.1kW（1 台当たり） 8P 400V、60Hz	1 基 3 台
プラント揚水ポンプ	形式 吐出量 揚程 主要材質	片吸込渦巻ポンプ 120 t/h 50m インペラ：FC150 シャフト：SUS403	2 台 (交互運転)

表 5-2-2 設備概要（給水設備）			
プラント設備仕様構成等			
	ケーシング：FC200 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 37kW（1台あたり） 極数 4P 電源 400V、60Hz		
冷却塔揚水ポンプ	形式 片吸込渦巻ポンプ 吐出量 130 t/h 揚程 30m 主要材質 インペラ：FC150 シャフト：SUS403 ケーシング：FC200 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 18.5kW（1台あたり） 極数 4P 電源 400V、60Hz	2台 （交互運転）	
投入ステージ洗車ポンプ	形式 片吸込渦巻ポンプ 吐出量 12 t/h 揚程 60m 主要材質 インペラ：FC150 シャフト：S35C ケーシング：FC200 駆動用電動機 形式 全閉外扇形 出力 5.5kW 極数 4P 電源 400V、60Hz	1台	

表 5-2-2 設備概要（付帯設備）			
プラント設備仕様構成等			
予備ボイラ	（本体更新、都市ガス配管新設） 形式 多管式貫流ボイラ 電熱面積 4.98m ² 最高使用圧力 0.981MPa 保有水量 95L 使用燃料 都市ガス 13A	2基	

表 5-2-2 設備概要（電気設備）			
プラント設備仕様構成等			
ごみ投入扉関係	（1）投入扉制御盤 （2）投入扉現場版 形式 壁掛形 （3）投入扉集中制御操作盤 形式 壁掛形 （4）プラットホーム計装設備 ①ループコイル（投入扉用）新設 ②光電スイッチ（投入扉用）新設 ③投入扉、ダンピング、現場盤 ④投入扉集中制御操作盤更新 ⑤投入扉制御盤新設 ⑥開閉指令函更新	1面 8面 1面 7組 7組 8面 1面 1面 8面	
ごみクレーン	（1）No.1.2 塵芥供給クレーン ①運転指示盤 形式 自立形 ②巻上げ制御盤 形式 自立形 ③横行制御盤 形式 自立形 ④走行制御盤 形式 自立形 （2）電源設備 ①No.2 共通動力盤	各1面 各1面 各1面 各1面	

表 5-2-2 設備概要（電気設備）			
プラント設備仕様構成等			
	型式：鋼板製屋内閉鎖自立型 ⑥ダストコンベヤ操作盤 型式：鋼板製屋内閉鎖壁掛型 ⑦灰出コンベヤ操作盤 型式：鋼板製屋内閉鎖壁掛型 ⑧バイパスコンベヤ操作盤 型式：鋼板製屋内閉鎖壁掛型 ⑨ダスト集合コンベヤ操作盤 型式：鋼板製屋内閉鎖壁掛型 ⑩活性炭受入警報盤 型式：鋼板製屋内閉鎖壁掛型	2 面 2 面 1 面 1 面 1 面	
発電機	形式：CT-AFT 電圧：3,300V 電流：306A 容量：1,750KVA	1 基	
蒸気タービン	形式：横 4 段衝動背圧式単流排気 排気圧：0.5kg/cm ² G キロワット数：1,700KW 回転数：9558.6rpm 気筒数：1 個 気圧：17kg/cm ²	1 基	
受変電高圧設備	1.高圧気中負荷開閉器（更新） （1）7.2kV 400A ZCTトリップ付き 2.コンデンサ盤（H11）（H12）（取付機器更新） （1）400KVA （2）直列リアクトル CR352421KEE6NC 3.コンデンサ盤（H13）（取付機器更新） （1）200KVA （2）直列リアクトル CR352211LEE6NC 4.コンデンサ盤（H14）（取付機器更新） （1）100KVA （2）直列リアクトル CR352101KEE6NC 5.取引版（H15）（取付機器更新） （1）断路器 3PDS 7.2kv 600A V3-6ZW 6.受電変成器盤（H16A）、受電遮断器盤（H16B）（取付機器更新） （1）断路器 DS 7.2kv 600A V4 （2）計器用 VT 高圧用ヒューズ FPT-1 1A （3）接地用トランス ZPC-9B 7.主変圧器二次変成器（H17A）、主変圧器遮断盤（H17B）（取付機器更新） （1）計器用 VT 高圧用ヒューズ FPT-1 1A 8.高圧動力き電盤（H18B）（取付機器更新） （1）計器用変流器 CT 400/5A CD-40K （2）計器用変流器 CT 400/5A ,CM1-6CA 9.コンデンサき電盤（H18A）（取付機器更新） （1）計器用変流器 CT 300/5A CD-40 10.建築動力き電盤 （1）計器用変流器 CT 75/5A CM1-6CA 11.照明き電盤（H19B）（取付機器更新） （1）計器用変流器 CT 75/5A CM1-6CA 12.GPT 盤（H20A）（取付機器更新） （1）計器用 VT 高圧ヒューズ 7.2kV 1A FPT-1 13.TG 受電盤（H21）（取付機器更新） （1）断路器 DS 3.6kV 600A V-6 （2）計器用変流器 CT 400/5A CM1-6CA （3）計器用変流器 CT 400/5A CM1-6CA （4）計器用変流器 CT 400/5A CM1-6CA 14.TG 変成器盤（H22）（取付機器更新） （1）EX トランス 5KVA AIH （2）コンデンサ 3φSC AF3321RTC3（三相） 15.灰溶融炉変圧器盤（H23A）（取付機器更新） （1）計器用変流器 CT 200/5A CD-40ENA （2）零相変流器 ZCT UCZ 16.2 号炉 IDF 盤（H23B）（取付機器更新） （1）計器用変流器 CT 40/5A50/5A VCS 内蔵タイプ	1 台 3 個 4 個 1 台 4 個 2 個 3 個 2 個 2 個 1 個 4 個 3 個 3 個 3 個 3 個 1 台 1 基 2 個 1 個 2 個 1 個	

表 5-2-2 設備概要（受入、前処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
	機器重量：6,450kg		
No2 焼却灰受入れ ホッパ	型式 エプロンフィーダ式 容量 4.7m³ 排出能力 1,500kg/h 主要部材質 ホッパ：SS400（6mm）、 エプロン SS400 （9mm×W630×H120×P200） 電動機 エプロンコンベヤ 1.5kW×440V×4P 掻き出しスクレーパコンベヤ 0.4kW×440V×4P 機器重量：3,950kg	1 基	
一次磁選機	型式 永磁式吊下 電動機 1.5kW×440V×4P 主要項目 主要寸法 ベルト巾 900mm、機長 2.3m 主要材質 SS400 磁気サイズ W800×L1,000mm 機器重量：6・70kg	1 基	
一次磁選コンベヤ	型式 ベルト式 主要項目 主要寸法 ベルト巾 900mm、機長 5.3m 主要材質 SS400、ゴムベルト 電動機 0.75kW×440V×4P 機器重量：280kg	1 基	
破碎機	型式 衝撃式破碎機 （プレーカコンペラ GNB 型） 処理量 1,500kg/h 電動機 45kW×440V×6P 主要項目 主要寸法 W1,700mm×L2,700mm×H2,4550mm 投入口 W500×L840mm 排出口 W840×L1,600mm 主要材質 ケーシング（SS400） 打撃子（高マシニング鋼） 機器重量：3,400kg	1 基	
二次磁選機	型式 永磁式吊下磁選機 主要項目 主要寸法 ベルト巾 600mm、機長 1m 主要材質 SS400、ゴムベルト 磁気サイズ W762×L610mm	1 基	
二次磁選コンベヤ	型式 ベルト式 主要項目 主要寸法 ベルト巾 750mm、機長 3.85m 主要材質 SS400、ゴムベルト 電動機 0.75kW×440V×4P	1 基	
集じん装置	型式 トップファン型パルスエアー 処理風量 70m³/min ろ布 面積：26.7m² 寸法：φ116×L1,500mm 数量：49 本 電動機 送風機：5.5kW×440V×2P ロータリーバルブ 0.2kW 主要項目 主要寸法 W1,600×L1,600×H3,158mm 主要材質 SS400	1 基	
鉄屑コンベヤ	型式 ベルト式 搬送能力 200kg/h 主要項目 主要寸法 ベルト巾 450mm×機長 18m、 揚程 4m 主要材質 SS400、ゴムベルト 電動機 1.5kW×440V×4P	1 基	
非鉄金属除去スク リーン	型式 1 段全閉式バイブロスクリーン 処理能力 1,500kg/h 振動数 1,000CPM	1 基	

表 5-2-2 設備概要（受入、前処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
	主要項目 主要寸法 トラフ W550mm×L1mm 主要材質 SS400 コーラスパイプレータ 加振力 9kN×2 0.6×440V×6P×2 台 ダイナミックブレーキユニット		
No1 焼却灰搬送コンベヤ	型式 リンクチェーンフライト式 搬送能力 1,500kg/h 主要項目 主要寸法 ケーシング巾：600mm 機長：1.589m 揚程：6.181m 主要部材 ケーシング（SS400） 底板：6mm、ライナ：9mm 側板：6mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 9mm×W448×H100×P338 リンクチェーン φ16×P55 電動機 2.2kW×440V×4P	1 基	
不燃物コンベヤ	型式 リンクチェーンフライト式 処理能力 200kg/h 主要項目 主要寸法 ケーシング巾 600mm 機長 11.5m 機高 2m 主要材質 ケーシング（SS400） 底板 6mm、側板 6mm 天板 3.2mm フライト（SS400） 9mm×W448×H100×P330 電動機 1.5kW×440V×4P		

表 5-2-2 設備概要（貯蔵、供給設備）			
プラント設備仕様構成等			
No3 焼却灰搬送コンベヤ（1）	型式 ローラチェーンフライト式 搬送能力 1,500kg/h 主要項目 主要寸法 ケーシング巾：450mm、機長：5.796m、 揚程 25.825m 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：4.5mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 6mm×W328×H100×P200 チェーン RF05100R 電動機 5.5kW×440V×4P	1 基	
No3 焼却灰搬送コンベヤ（2）	型式 ローラチェーンフライト式 主要寸法 ケーシング巾：450mm、機長：15.212m、水平 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：4.5mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 6mm×W328×H100×P200 チェーン RF05100R 電動機 3.7kW×440V×4P	1 基	
分配コンベヤ	型式 ローラチェーンフライト式（正逆運転） 搬送能力 1,500kg/h 主要寸法 ケーシング巾：450mm、機長：5m、水平 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：6mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 6mm×W328×H100×P200 電動機 1.5kW×440V×4P	1 基	
溶融用分岐ダンパ 1	型式 エアー駆動式二又ダンパ 主要寸法 φ400mm×L1,350mm 主要材質 SS400 駆動 エアーシリンダーφ50×100ST	1 基	
溶融用分岐ダンパ 2	型式 エアー駆動式二又ダンパ 主要寸法 φ400mm×L1,350mm 主要材質 SS400	1 基	

表 5-2-2 設備概要（貯蔵、供給設備）				
プラント設備仕様構成等				
	駆動	エアーシリンダーφ50×100ST		
No4 焼却灰搬送コンベヤ	型式 搬送能力 主要寸法 主要材質 電動機	ローラチェーンフライト式 1,500kg/h ケーシング巾：450mm、機長：10.842m、水平 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：6mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 6mm×W328×H100×P200 3.7kW×440V×4P	1 基	
焼却飛灰払出コンベヤ	型式 搬送能力 チェーン 主要寸法 主要材質 電動機	リンクチェーンコンベヤ 1,000kg/h RF05100R ケーシング巾：600mm、機長：9.25m、水平 ケーシング（SS400） 底板：4.5mm、側板：4.5mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 6mm×W328×H100×P200 2.2kW×440V×4P	1 基	
焼却灰貯留ホッパ	型式 容量 排出能力 主要寸法 エプロンフィーダ 主要材質 電動機	角型ホッパエプロンフィーダ式 26.4m³（1 基につき） 750kg/min（1 基につき） φ2.5m×H8.65m 機幅：2.8m、機長：4.1m SS400 エプロンフィーダ 2.2kW×440V×4P×2 台 掻出しスクレーパコンベヤ 0.75kW×440V ×4P×2 台	2 基	
焼却飛灰貯留ホッパ	型式 容量 排出能力 主要寸法 主要材質 エプロンフィーダ 電動機 数量 スライドゲート 方式 数量 ジェットブラスタ 方式 数量 レベル計 方式 数量 集じん器 方式 処理風量 ろ布面積 ろ布寸法 ろ布本数 数量 保温	円型定量排出式 14m³（1 基につき） 115～150kg/min（1 基につき） 6mm×φ2m×H9.374m SS400 エプロンフィーダ 電動機 2.2kW×440V×4P×2 台 数量 1 基（1 基につき） スライドゲート 方式 手動 数量 1 基（1 基につき） ジェットブラスタ 方式 エアー式 数量 2 基（1 基につき） レベル計 方式 回転式レベルスイッチ 数量 2 基（1 基につき） 集じん器 方式 パルス式バグフィルタ 処理風量 7m³/min ろ布面積 7.2m² ろ布寸法 φ160×L750 ろ布本数 4 本 数量 1 基（1 基につき） 保温 ロックウール 75mm	2 基	
塩基度調整剤供給ホッパ	型式 容量 排出能力 主要寸法 主要材質 エプロンフィーダ 電動機 数量 スライドゲート 方式 数量 ジェットブラスタ 方式 数量	円型定量排出式 6.4m³ 15～50kg/min 6mm×φ2m×H7.76m SS400、FC エプロンフィーダ 電動機 0.75kW×440V×4P×2 台 数量 1 基 スライドゲート 方式 手動 数量 1 基 ジェットブラスタ 方式 エアー式 数量 2 基	1 基	

表 5-2-2 設備概要（貯蔵、供給設備）			
プラント設備仕様構成等			
	レベル計 方式 回転式レベルスイッチ 数量 2 基 集じん器 方式 パルス式バグフィルタ 処理風量 7m³/min ろ布面積 7.2m² ろ布寸法 φ160×L750 ろ布本数 4 本 数量 1 基		
混合加湿器	型式 パドル羽根式連続混合機 滞留量 200L 主要寸法 W590mm×L3,502mm 主要材質 羽根：イソクロム鋼、ケース：SS400 電動機 7.5kW×440V×4P パドル回転数 42rpm	1 基	
加湿灰供給機	型式 ベルトコンベヤ式計量機 搬送能力 1.500kg/h 計量能力 100～1.500kg/h 主要寸法 W1,330mm×L3,365mm 主要材質 SS400 ベルト幅 750mm 計量装置 ロードセル CBE1-50K 電動機 0.2kW×440V×4P	1 基	
No1 投入コンベヤ	型式 ローラチェーンフライト式 搬送能力 1,500kg/h 主要寸法 ケーシング巾：600mm、機長：11.642m、 揚程 8.32m 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：6mm、天板：3.2mm フライト（SS400） 9mm×W470mm×H100×P200 電動機 3.7kW×440V×4P	1 基	
No2 投入コンベヤ	型式 ローラチェーンフライト式 搬送能力 1,500kg/h 主要寸法 ケーシング巾：600mm、機長：9.546m、 揚程 7.557m 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：6mm、側板：6mm、天板：9mm フライト（SS400） 9mm×W470mm×H100×P200 電動機 3.7kW×440V×4P	1 基	
No3 投入コンベヤ	型式 ローラチェーンフライト式 搬送能力 1,500kg/h 主要寸法 ケーシング巾：600mm、機長：4.542m、水平 主要材質 ケーシング（SS400） 底板：4.5mm、側板：4.5mm、天板：9mm フライト（SS400） 6mm×W470mm×H100×P200 電動機 2.2kW×440V×4P ダンパ 開閉式ダンパ×3 台 駆動 エアーシリンダ	1 基	
コンテナ搬送ホ イスト	型式 電動トロリー式 輸送能力 7t/h×2 系列 主要項目 吊上荷重 1 t 操作方法 押上押しボタン方式 電動機 巻上用 2.4kw 横行用 0.2 k w	1 台	
空気輸送設備	型式 空気圧送式 輸送能力 7t/h×2 系列 主要項目 受入れホッパ φ1,200×H1,800×2 基 ホッパ架台・ホイスト・屋根付き	1 式	

表 5-2-2 設備概要（貯蔵、供給設備）			
プラント設備仕様構成等			
	400A ゲート×2 基・エア抜き 輸送設備 ルーツブロワ 18.5kW×440V ロータリフィーダ 0.75kW×440V 輸送管 100A 100A 製品切替バルブ×4 基 エア切替バルブ×2 基		
テルミット貯留ホッパ	型式 円型定量排出式 容量 Fe 用：7m³、AL 用：5 m³ 主要寸法 Fe 用：φ150×L2,650mm AL 用：φ1,800×H3,531 主要材質 SS400、FC 排出設備 スクリューフィーダ Fe 用：φ150×L2,650mm 電動機：0.75kW×440V AL 用：φ150×L1,450mm 電動機：0.75kW×440V 集じん器 方式 パルス式バグフィルタ 処理風量 7m³/min ろ布面積 7.2m² ろ布寸法 φ160×L750 ろ布本数 4 本（1 基につき） 数量 1 基（1 基につき）	2 基	
テルミット包装機	型式 容量式自動充填包装機 包装フィルム PE12μm+PE40μm 包装形態 合掌張り 包装能力 30 包/分 主要寸法 W1,175m×L975m×H2,300m 電気容量 440V 約 20A 約 2.5KVA	1 台	
テルミット排出コンベヤ	型式 ベルト式 主要寸法 W200×L1,300mm 主要材質 フレーム アルミ ベルト 樹脂 電動機 90W×100V	1 基	
テルミット投入コンベヤ	型式 ベルト式 主要寸法 W200×L5,100mm 主要材質 フレーム アルミ ベルト 樹脂 電動機 90W×100V	1 基	

表 5-2-2 設備概要（灰溶融設備）			
プラント設備仕様構成等			
溶融炉	型式 テルミット式両面溶融炉 処理能力 26t/日 処理時間 24H/日（1,085kg/h） 灰押プッシャ装置 油圧ユニット 160L 電動機 7.5kW×440V×4P 作動油 水グライコール系 油圧シリンダー 70kg/cm² φ100×φ56×1,100ST プッシャ SCH13 製 主要寸法 W7,804×L6,332×H8,832 主耐火材 天井部：CST-A75 アンカー煉瓦：CST-A90C 側壁部：ALM-AC10ZS4 炉床部：ALM-AC10ZS4 下部ダクト：KVR16K 熱電対：R（特殊品）×2	1 基	
投入ホッパ	型式 SUS 製角型	1 基	

表 5-2-2 設備概要（灰溶融設備）			
プラント設備仕様構成等			
	容量 11m ³ 主要寸法 W5,600×L838×H3,445 主要材質 SUS304、SS400 レベル計 超音波式、3ヶ		
二次燃焼室	型式 空気加熱式横型 室内温度及び滞留時間 850℃×2 秒以上 主要寸法 ケーシング：6mm、9mm 羽根：6mm、外径：2,112mm、 内径：1,300mm、長さ：8,495mm 主要材質 SS400 耐火材：KVR-16K 保温材：ロックウール 50mm 熱電対：R（特殊品）×2	1 基	

表 5-2-2 設備概要（燃焼装置設備）			
プラント設備仕様構成等			
溶融炉バーナ	型式 比例制御式、 内部混合・高圧気流スプレイヤ 燃焼容量 12～55L/h・台 付属品 パイロットバーナ 1 式 点火トランス 1 式 スパークプラグ 1 式	8 台	
二次燃焼室用バーナ	型式 高圧比例制御式・内部混合低圧気流スプレイヤ 燃焼容量 10～35L/h・台 付属品 点火トランス 1 式 スパークプラグ 1 式	1 台	
燃焼空気ブロワ	型式 ターボブロワ 主要材質 SS400 電動機 18.5k W×440V×4P 付属品 サクションフィルタ 1 式 防振継手 1 式 風量調整ダンパ 1 式 サイレンサー 1 台	1 台	
風圧レギュレータ	型式 ダイヤフラム自力式	1 式	
温度制御装置	溶融炉用制御弁 型式 位置比例制御方式 数量 4 式 二次燃焼室用 型式 位置比例制御方式 数量 1 式 温度指示調整計 型式 パネルマウント型 数量 5 台 熱電対 R 熱電対 2 本 溶融炉 K 熱電対 1 本 2 次燃焼室用		
灯油供給装置	地下タンク 型式 円筒横型鋼板製 主要項目 容量 50KL 主要材質 SS400 外面処理 防水、 エポキシ樹脂+ヘッシャンクロス 付属品 レベル計 1 式、 油漏れ検知器 1 式 マンホール 1 式 給油ポンプ 型式 ギヤポンプ 主要項目 容量 12L/min 揚程 30mH 電動機 0.40kW×440V×4P 付属品 ストレーナ、圧力計、		

表 5-2-2 設備概要（燃焼装置設備）			
プラント設備仕様構成等			
	リリーフバルブ サービスタンク 型式 丸形鋼板製 数量 1 基 主要項目 容量 980L 主要材質 SS400 付属品 レベル計スイッチ 1 式 圧力計 1 式		
炉冷却プロワ	型式 ターボファン 主要材質 SS400 電動機 5.5kW×440V×2P 付属品 サクションフィルタ 1 式 風量調整ダンパ 1 式	1 台	
返油ポンプ	型式 ギヤポンプ 容量 54L/min 揚程 30m 電動機 0.75 kW×440V	1 台	

表 5-2-2 設備概要（スラグ搬出設備）			
プラント設備仕様構成等			
スラグ水砕コンベヤ	型式 リンクチェーンフライト式 搬送能力 1,200kg/h 主要寸法 ケーシング幅:1.2m 機長:10.062m、機高:3.18m フライト:t9×L1,020×H100×P512 主要材質 ケーシング 6mm (SUS304) リンクチェーン φ16×55 (SUS304) 電動機 2.2kW×440V×4P	1 基	
スラグ搬出コンベヤ	型式 リンクチェーンフライト式 搬送能力 1,200kg/h 主要寸法 ケーシング幅:W450 機長:18.698m 揚程:3.055 フライト:t9×W448×H100×P330 主要材質 ケーシング (SUS304) 底板 4.5mm、側板 4.5mm 天板:3.2mm、ライナ 9mm フライト (SUS304) 9mm×W448×H100×P330 リンクチェーン φ16×P55 電動機 2.2kW×440V×4P	1 基	
スラグ水沈殿槽	型式 角型 2 槽式 搬送能力 1.9m ³ ×2 槽 主要寸法 W1,336×L2,536×H2,125 主要材質 SUS304	1 基	
塩酸貯留槽・塩酸供給ポンプ	型式 PH 自動制御方式 タンク容量 100L 注入ポンプ 1mL/min 0.7Mpa 電動機容量 48VA	1 基	
スラグ水循環ポンプ	型式 ボルテックスポンプ 吐出量 30L/min 全揚程 9.4m 電動機 0.4kW×440V	1 基	
排水ポンプ	型式 汚水用水中ポンプ 吐出量 0.03m ³ /min 全揚程 8.6m 電動機 0.25kW×440V	1 基	
循環ポンプ	型式 ステンレス製片吸込渦巻ポンプ	1 基	

表 5-2-2 設備概要（スラグ搬出設備）			
プラント設備仕様構成等			
	吐出力 0.375m ³ /min 全揚程 36.5m 電動機 3.7kW×440V×2P		
汚泥脱水機	型式 回転式ドラム吸引式 処理能力 300L/min ろ過面積 0.1m ² 電動機 0.4kW×440V	1 基	

表 5-2-2 設備概要（燃焼ガス冷却設備）			
プラント設備仕様構成等			
燃焼用空気予熱器 及び排ガスダクト	型式 ジャケット式熱交換器 主要寸法 外径：2,112mm、板厚：6mm ジャケット部：H114×P500、羽根 6mm 主要材質 SUS304 電熱面積 116m ²	1 基	
排ガス冷却塔	型式 2 流体噴霧式 冷却室容積 30.3m ³ 主要項目 ケーシング：6mm、外径：2,712mm 内径：2,100mm、2,450mm 高さ：9,106mm 主要材質 ケーシング：SUS400	1 基	
減温塔	型式 空気式冷却塔 主要寸法 ケーシング：6mm、外径：2,212mm 高さ：6,850mm 主要材質 S-Ten、SS400	1 基	
排ガス冷却ブロワ	型式 ターボブロワ 主要材質 SS400 電動機 7.5kW×440V×4P	1 基	
噴射水加圧ポンプ	型式 ステンレス製多段渦巻ポンプ 容量 90L/min 揚程 63.4mH 電動機 3.7kW×440V×2P	2 基	
給水ポンプ	型式 片吸込渦巻ポンプ 容量 40L/min 揚程 36m 電動機 1.5kW×440V	4 基	
純水タンク	型式 円筒自立型 容量 5m ³ 主要寸法 1.6×φ1,890×H2,480 主要材質 PE,SS40	1 基	
空気圧縮機	型式 油噴射一段圧縮・パッケージスクリー ドライヤ ドライヤ内蔵型 主要寸法 W1,610×L1,040×H1,450 電動機 37kW×440V×4P	1 基	
空気圧縮タンク	型式 円筒堅型 容量 1.98m ³ 主要寸法 φ1,018×H2,959 主要材質 SS40	1 基	
エアードライヤ	型式 RAX-3-B 処理空気量 0.35m ³ /min 電気容量 0.18kW×100V	1 基	

表 5-2-2 設備概要（排ガス処理設備）			
プラント設備仕様構成等			
バグフィルター （ろ布）	（本体更新） 寸法 内径 φ152mm×長さ 6,955mm 材質 特殊ガラス繊維	910 本 （455 本/炉）	
集じん器	型式 ろ過式集じん機 ろ布本数 280 本 ろ布材質 プロフィレン 主要材質 SS400	1 基	

表 5-2-2 設備概要（通風設備）				
プラント設備仕様構成等				
誘引通風機	形式 風量 静圧 主要材質 電動機	電動直結ターボ型 380m ³ /min 3.43kPa ケーシング：S-Ten インペラ：S-Ten 45kW×4P×400V	1 台	
風道	型式 風速 主要材質	溶接鋼板製 12m/sec 以下 SS400	1 炉分	
煙道	型式 風速 主要材質	溶接鋼板製 12m/sec 以下 高温煙道：外板 S-Ten、内面 耐火物施工 低温煙道：外板 S-Ten、外面 保温施行	1 炉分	
炉内圧力制御装置	型式 炉圧制御用ダンパアクチュエータ 操作トルク 電源 炉圧制御用ダンパ 口径 材質 炉圧制御用圧力コントローラ 炉圧制御用遠隔設定器	電油操作式 電油操作機 433～606N/m 0.4kW×440V×4P ダンパ φ600 軸 SUS304 その他 SS400 圧力コントローラ 遠隔設定器		

表 5-2-2 設備概要（飛灰固化設備）				
プラント設備仕様構成等				
No1 飛灰搬出コンベヤ	型式 主要寸法 搬送能力 主要材質 電動機	リンクチェーンコンベヤ ケーシング W300mm、機長：2.206m、 揚程 1.59m フライト t9×W148×H100×P330mm 500 k g / h SS400 1.5kW×440V×4P	1 基	
No2 飛灰搬出コンベヤ	型式 主要寸法 搬送能力 主要材質 電動機	リンクチェーンコンベヤ ケーシング W300mm、機長：6.075m、 機高 水平 500 k g / h SS400 1.5kW×440V×4P	1 基	
No3 飛灰搬出コンベヤ	型式 主要寸法 搬送能力 主要材質 電動機	リンクチェーンコンベヤ ケーシング W300mm、機長：12.715m、 揚程 8m 500 k g / h SS400 2.2kW×440V×4P	1 基	
No4 飛灰搬出コンベヤ	型式 主要寸法 搬送能力 主要材質 電動機	リンクチェーンコンベヤ ケーシング W300mm、機長：2.075m、水平 500 k g / h SS400 1.5kW×440V×4P	1 基	
熔融飛灰貯留タンク	型式 容量 主要材質 テーブルフィーダ 電動機 数量 スライドゲート 方式 数量 ジェットブラスタ 方式 数量	円筒下部円錐型 10.7m ³ SS400 フィーダ 0.2kW×440V×4P（インバータモータ） 1（1基につき） ゲート 手動 1（1基につき） ブラスタ エア式 2（1基につき）	1 基	

表 5-2-2 設備概要（飛灰固化設備）				
プラント設備仕様構成等				
	レベル計 方式 回転式レベルスイッチ 数量 2（1基につき） 集じん器 方式 バルス式バグフィルタ 処理風量 7m³/min ろ布面積 7.2m² ろ布寸法 φ160×L750 ろ布本数 4本 数量 1（1基につき） 保温 ロックウール 50mm 加温ヒータ HS10A 形 0.75×4 台			
No5 飛灰搬出コンベヤ	型式 リンクチェーンコンベヤ 主要寸法 ケーシング W300mm、機長：3.872m、 揚程 9.397m 搬送能力 500 k g / h 主要材質 SS400 電動機 1.5kW×440V×4P	1 基		
薬品タンク	型式 円筒形 容量 1m³ 主要材質 PE 樹脂	1 基		
薬品供給ポンプ	型式 タイヤフラム定量ポンプ 能力 0.72L/min 主要材質 PTEE/SUS304 電動機 0.2kW×440V	2 台		
セメントサイロ	型式 円筒形 主要寸法 t6×φ1,500mm×H5,532mm 容量 3.4m³ 主要材質 SS400 テーブルフィーダ 電動機 0.75kw×440V×4P（インバータモータ） 数量 1（1基につき） レベル計 方式 回転式レベルスイッチ 数量 2（1基につき） 集じん器 方式 バルス式バグフィルタ 処理風量 7m³/min ろ布面積 7.2m² ろ布寸法 φ160×L750 ろ布本数 4本 数量 1（1基につき）	1 基		
セメント供給コンベヤ	型式 リンクチェーンコンベヤ 主要寸法 ケーシング W300mm、機長：4.765m、 揚程 2.425m 搬送能力 500 k g / h 主要材質 SS400 電動機 1.5kW×440V×4P	1 基		
混練機	型式 2軸パドルスクリュウ ホッパ容量 0.1m³ 主要材質 SUS304、SS400 電動機 5.5kW×440V 処理能力 1m³/h（比重=0.4）	1 台		
養生コンベヤ	型式 バルト式 主要寸法 ベルト幅 600mm フレーム W832mm×H700 機長 8.828m 主要材質 SS400・ゴムベルト 電動機 2.2kW×440V×4P	1 基		
熱交換器	型式 プレート式熱交換器 流量 15.5m³/h 交換熱量 360kW 電熱面積 20.4m² 材質 プレート SUS304	1 基		
循環水槽	型式 円筒自立型 容量 0.75m³ 主要寸法 t4×φ900×1,500mm	1 基		

表 5-2-2 設備概要（電気設備）			
プラント設備仕様構成等			
	材 質 銅板製 板 厚 2.3mm 指示計 角形半埋込式 塗 装 焼付塗装		
配管・配線	(1) 配線 高圧回路 CV ケーブル 低圧動力回路 CV ケーブル 設置線 IV 電線 制御回路 CVV ケーブル 計装、計器回路 CVVS ケーブル (2) 配管 屋内、屋外 ダクト・ラック・電線管（厚鋼） 埋設 硬質化等ポリエチレン管等		

表 5-2-2 設備概要（計装制御設備）			
プラント設備仕様構成等			
ITV 装置	(1) 監視用カメラ 型式 工業用テレビ No.1 受入ホッパ 防塵 No.2 受入ホッパ 防塵 溶融炉内 防塵 溶融炉スラグ排出 防塵 飛灰固化設備 防塵	1 台 1 台 1 台 1 台 1 台	
ガス監視装置	CO ₂ 計 HC 1 計 Sox 計 No x 計 ばいじん計 一酸化炭素濃度計 形式 非分散形赤外線吸収式 塩化水素濃度計 形式 双イオン電極連続分析式	1 基 2 基	

5-2-1-3. 岡南環境センター 付属建物

- (1) 竣工年月 昭和 53 年 4 月
- (2) 施設概要表 5-2-3 参照

表 5-2-3 岡南環境センター付属建屋の概要

建築物概要		
計量棟	構造	RC 造
	階数	1
	基礎	べた基礎
	軒高	GL+2.4m
	最高高さ	GL+3.2m
	床面積	16m ²
	建築面積	20m ²

5-2-1-4. 敷地内外構設備

- (1) 構内舗装
- (2) 雨水・雑排水設備
- (3) 構内照明設備
- (4) 植栽
- (5) 門・囲障

- (6) 構内配電設備
- (7) 埋設配管
- (8) その他

5-2-2. 工事基本方針

焼却施設の解体撤去にあたっては、ダイオキシン類暴露対策及び石綿飛散防止対策に十分留意するとともに、当該敷地が軟弱地盤から形成されており建設時には地下水の変動により敷地周辺の家屋等に被害が生じた経験を踏まえ、地下水位の変動及び振動の発生に伴う周辺家屋、構造物、事業所等への影響等に関しては必要に応じて万全の対策を講じるものとする。

また、竣工後数次にわたる改修工事等を行っていることから要求水準書から読み取れる機器等以外の機器、備品、消耗品等が残置されている可能性があること及び現状において地下室内に生じたクラック等から地下水が内部に漏水していることといった特性を踏まえた施工計画の立案が必要であることに留意すること。

5-2-3. 工事の範囲

5-2-3-1. 解体撤去範囲

解体撤去範囲は、工事区域（添付資料-3）内の構造物等を対象とする。工事範囲内の解体対象物は以下に示すとおりとする。

- 1) 建築物・構造物・工作物等（基礎、基礎杭を含む）
 - (1) 岡南環境センターのうち地上部分については全て撤去する。地下部分については、本件施設の建設に支障のある範囲を撤去する。
- 2) プラント設備・関連設備類
 - (1) プラント設備（受入供給設備、燃焼設備、通風設備、助燃設備、燃焼ガス冷却設備、排ガス処理設備、排水処理設備、余熱利用設備、灰出設備、給水設備、付帯設備、電気設備、受入、前処理設備、貯蔵、供給設備、灰溶融設備、燃焼装置設備、スラグ搬出装置、飛灰固化設備、計装制御設備）及び建築設備（建築機械設備、建築電気設備）は、全て撤去とする。
 - (2) 埋設配管・埋設電線は全て撤去する。
- 3) 敷地内外構設備
 - (1) 敷地内外構設備は全て撤去する。
- 4) 残留物等の撤去処分
 - (1) 解体対象物に残存する油、薬品、排水、汚泥、装置内の残存廃棄物等全ての撤去処分。
 - (2) 解体工事範囲内に残存する備品類、残置物の全ての撤去処分。

5-2-3-2. 事前調査

設計施工事業者は、解体撤去工事に先立ち、管理区域及び作業員防護服などのレベルを決定することを目的として、以下の設備で堆積物、付着物及び作業環境を測定するものとする。

- 1) ダイオキシン類
 - (1) 付着物・堆積物
プラント設備内の付着物と堆積物を調査するものとし、調査数量及び調査場所については、設計施工事業者の技術提案と施工計画によるものとする。
 - (2) 作業環境
調査数量及び調査場所については、設計施工事業者の管理区域の考え方によるものとする。

2) ポリ塩化ビフェニル (PCB)

岡山市の調査によれば解体対象物において高濃度 PCB 含有機器は存在しない。

設計施工事業者による事前調査の結果、含有が明らかとなった場合は、岡山市が指定する場所への保管を事業者の工事範囲とし、機器の処理処分は岡山市が行う。

3) 石綿

解体対象物に使用されている建築材料のうち石綿の含有が疑われる材料の一覧を表 5-2-6、5-2-7 に示す。大気汚染防止法に基づき、事前調査（書面調査、現地での目視調査、分析による調査）を実施すること。その他、プラント設備等に使用されているパッキン類については、非飛散性石綿として計画すること。

表 5-2-6 岡南環境センター 石綿含有可能性建材等一覧（参考）

階数	室名称	床	壁	天井
地下 2 階	誘引通風機室	防水モルタル金鍍仕上げ	ロックウールボード金網押え	ロックウールボード金網押え
	ポンプ室	防水モルタル金鍍仕上げ＋耐薬品性塗床(純水装置部分)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	汚水処理室	防水モルタル金鍍仕上げ＋耐薬品性塗床(基礎部分)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	フライトコンベヤ室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	薬品置き場	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
	No.2ブローア室	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
	空気圧縮機室	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
	No.1ブローア室	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
MB2 階	タービン基礎室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	非常用発電機室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	ロックウールボード金網押え	木毛セメント板
	薬品貯槽室	防水モルタル金鍍仕上げ＋耐薬品性塗床(耐酸、耐アルカリ、耐熱防水塗床材)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	搬出入通路	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	資材庫	モルタル金鍍目地切仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	灰出しスペース	防水層下地＋耐摩耗性塗床(AS 系弾性床材)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	煙道	防水モルタル金鍍仕上げ	防水モルタル金鍍仕上げ	防水モルタル金鍍仕上げ
	倉庫	プラスチック系タイル(T2)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ホール	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	洗面所	モザイクタイル貼(AS 防水)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	廊下	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	便所	モザイクタイル貼(AS 防水)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	車庫、通路	防水層下地＋耐摩耗性塗床(AS 系弾性床材)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	車路(スロープ部)	荒面ブロック貼	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修

表 5-2-6 岡南環境センター 石綿含有可能性建材等一覧（参考）

階数	室名称	床	壁	天井
	分)			
	油圧ユニット室	モルタル金鍍目地切仕上げ	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
	ポンプ室1、2	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
地下1階	復水タンク室	モルタル金鍍目地切仕上げ＋モルタル防水金鍍仕上げ(一部)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	受電室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	木毛セメント板＋白セメント吹付
	低圧配電盤室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	木毛セメント板＋白セメント吹付
	炉室	モルタル金鍍目地切仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	脱気器室	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	防水モルタル金鍍仕上げ	木毛セメント板＋白セメント吹付
	タービン発電機室	モルタル金鍍目地切仕上げ＋グレーチング(一部)	ロックウールボード金網押え	－
	中央制御室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	灰出しクレーン	モルタル金鍍目地切仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ガスボンベ庫	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	倉庫	プラスチック系タイル(T2)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ホール	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	洗面所	モザイクタイル貼(AS 防水)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	廊下	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	便所	モザイクタイル貼(AS 防水)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	車庫、車路	防水層下地＋耐摩耗性塗床(AS 系弾性床材)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	車路(スロープ部分)	荒面ブロック貼	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ダンピングボックス基礎	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ファン室	モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	引込及び搬出入用トレンチ	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	ダクトトレンチ	コンクリート金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	パッケージ室	防水モルタル金鍍仕上げ	－	木毛セメント板
1 階	燃焼用押込通風機室	モルタル金鍍目地切仕上げ	コンクリート打放し補修	ロックウールボード金網押え
	破碎機室	防水層下地＋耐摩耗性塗床(AS 系弾性床材)	コンクリート打放し補修	木毛セメント板
	プラットホーム	防水層下地＋耐摩耗性塗床(AS 系弾性床材)	コンクリート打放し補修	木毛セメント板
	見学者デッキ	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	防水モルタル金鍍仕上げ	－
	車路(スロープ部分)	荒面ブロック貼	コンクリート打放し補修	－
	蒸気コンデンサー置場(低)	砂利敷	ロックウールボード金網押え	－

表 5-2-6 岡南環境センター 石綿含有可能性建材等一覧（参考）

階数	室名称	床	壁	天井
	蒸気コンデンサー置場(高)	砂利敷	ロックウールボード金網押え	—
	汚水蒸発装置室	防水モルタル金鍍仕上げ	コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修
	事務室	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	事務更衣室	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	玄関ホール	陶磁器タイル(100 角程度)	モルタル下地吹付タイル	塩ビ鋼板
	廊下	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ビニルクロス貼+軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	詰所	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ビニルクロス貼+軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	休養室	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ビニルクロス貼+軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	更衣室	プラスチック系タイル(T2)(スラブ下防湿シート敷)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	脱衣室	フローリングボード貼(T15)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	浴室	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	塩ビ角波成型版
	洗濯乾燥室	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	便所1、2	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	湯沸室1、2	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打) 湯沸室2は長尺塩ビシート貼	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	会議室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	書庫	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	扉操作室	陶磁器タイル(100 角程度)(軽量コンクリート打)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	扉操作室洗面所	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
2 階	タービン用クレーン室	プラスチック系タイル(T2)	ロックウールボード金網押え	木毛セメント板
	空調機械室	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	木毛セメント板
	展示説明スペース	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼+軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	事務室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	事務更衣室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	木毛セメント板(スラブ下)+

表 5-2-6 岡南環境センター 石綿含有可能性建材等一覧（参考）

階数	室名称	床	壁	天井
			ロス貼＋アルミ可動間仕切り	石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	応接室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼＋アルミ可動間仕切り	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	倉庫	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	会議室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼＋軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	試験室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	更衣室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	詰所	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	仮眠室	畳敷	新京壁仕上げ	木毛セメント板(スラブ下)＋化粧石膏ボード(木目)
	脱衣室	フローリングボード貼(T15)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	浴室	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	木毛セメント板(スラブ下)＋塩ビ角波成型板
	洗濯室	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	便所1、2	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	湯沸室1、2	モザイクタイル貼(AS 防水)(軽量コンクリート打)	タイル貼(100 角程度)	木毛セメント板(スラブ下)＋石綿セメント板ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)
	廊下	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ビニルクロス貼＋軽鉄間仕切りボードビニルクロス貼	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	予備室	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)＋アルミ可動間仕切り	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
3 階	クレーン操作室	プラスチック系タイル(T2)(気泡コンクリート打)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	廊下	プラスチック系タイル(T2)(気泡コンクリート打)	モルタル金鍍ペイント仕上げ(ビニルエマルジョンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下)＋石膏ボード貼の上、岩綿吸音板
	空調機械室1、2	防水モルタル金鍍仕上げ(軽量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	－

表 5-2-6 岡南環境センター 石綿含有可能性建材等一覧（参考）

階数	室名称	床	壁	天井
	ホール	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鋳ペイント仕 上げ(ビニルエマルジョ ンペイント塗)	木毛セメント板(スラブ下) + 石膏ボード貼の上、岩綿吸 音板
	ファン室	防水モルタル金鋳仕上げ(軽 量コンクリート打)	コンクリート打放し補修	—
4 階	エレベーター機械 室	モルタル金鋳仕上げ(軽量コン クリート打)	コンクリート打放し+モル タル刷毛引き	木毛セメント板+白セメント 吹付
共通	階段 A/A' / A''	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鋳ペイント仕 上げ(ビニルエマルジョ ンペイント塗)	コンクリート打放し補修の上 にパーライト吹付+石膏ボー ド+岩綿吸音板
	階段 B	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鋳ペイント仕 上げ(ビニルエマルジョ ンペイント塗)	石膏ボード+岩綿吸音板
	階段 C/C'	プラスチック系タイル(T2)	モルタル金鋳ペイント仕 上げ(ビニルエマルジョ ンペイント塗)	コンクリート打放し補修の上 にパーライト吹付+石膏ボー ド+岩綿吸音板
	階段 D/E/F	チェッカープレート	—	—

表 5-2-7 外壁仕上材 石綿含有建材等一覧（参考）

棟別	部位	仕上げ
工場棟	外壁	コンクリート打ち放しの上、モルタルスタッコ塗
煙突	外壁	コンクリート打ち放しの上、マスチック塗粒ローラー引き

4) フロン

解体対象物の空調機器の冷媒にはフロンが使用されていることを前提に計画すること。

5-2-3-3. 解体撤去工事に伴う付着物等除去作業

「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」の内容に添った付着物除去作業等の一式とする。なお、付着物除去作業等の除染工事に際しては、汚染レベルに係わらず保護具選定に係る第3管理区域として計画すること。

石綿については、工事に携わる労働者の健康障害の防止、大気汚染防止の観点から石綿繊維が空気中に飛散することを防止する必要があることを踏まえ、飛散性石綿については湿潤させるたうえで手作業による除去を行うなどの適正な工法を採用すること。非飛散性石綿のうち、外壁に使用されている塗材については負圧養生のうえ手作業による剥離作業を行う等の大気汚染防止法に基づく作業基準に従い適切な工法により除去を行うこと。

5-2-3-4. 解体材等の処理、運搬、処分

解体撤去工事及び付着物除去作業により生じた汚染物、排水、耐火物、コンクリート、鉄骨、鉄筋、機械類、建具類、配管類、石綿類、配線材、その他解体廃棄物を廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理廃棄物等を種類毎に分別して適正に処理・処分・再資源化するものとする。一般廃棄物については、岡山市が処理処分するので、岡山市が指定する場所に分別のうえ保管すること。

また、施設内に残留するごみ類、灰類、廃油、廃液、廃酸・廃アルカリ、排水等は全て取り出し、適正に処理・処分すること。残灰や付着物は解体撤去工事に伴って発生する廃棄物とし、産業廃棄物または特別管理産業廃棄物として適正に処理・処分すること。

ごみピット、炉室地下ピット部、汚泥中継槽等、施設内に残留する貯留水は、付着物除去作業の際に発生した排水と同等のものとして取り扱うこと。

付着物除去作業で除去された解体廃棄物及びその他の除去する必要のない解体廃棄物は廃

棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物等種類毎に分別して排出し、処分すること。

汚染物類は、必要に応じて重金属類溶出防止等のため搬出前に現場にて仮設設備によりキレート処理等をしたうえ、ドラム缶等の密閉容器に入れ搬出するか、または、分析結果に応じて、直接産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物として処分すること。また、場外へ搬出する前には5-3-6-7. 廃棄物処理（特定建設資材含む）に示す分析を行うものとする。前処理及び搬出するまでの間、一時保管するような場合には、飛散防止のため容器等に密封した上で保管するものとする。付着物除去作業の際発生する排水についても、後述する排水処理後の処理水と同様に所定の分析測定を実施し、産業廃棄物として処分すること。

表 5-2-8 本工事における廃棄物別の処理・処分方法（参考）

廃棄物の種類	処理・処分方法
廃石綿 (1)石綿含有吹付材を除去したもの (2)石綿含有保温材を除去したもの(プラント設備の点検口の保温材も該当する) (3)石綿建材除去作業に用いられ、廃棄されたプラスチックシート、防じんマスク、作業衣、用具・器具であって、石綿が付着しているおそれがあるもの。(負圧集じん装置のフィルター等も含む)	解体工事で発生した以下のものについては、廃石綿(特別管理産業廃棄物)として、適正に処理する。
石綿含有産業廃棄物	マニフェストに明記し、産業廃棄物として適正に処理する。
保温材(ロックウール、グラスウール等で石綿を含まないもの)	産業廃棄物として適正に処理する。
焼却灰、ばいじん(高圧洗浄に伴い発生する汚泥を含む)	設備内に残存する焼却灰等は、ダイオキシン類濃度及び重金属類濃度に応じて産業廃棄物(又は特別管理産業廃棄物)として適正に処理するものとする。必要に応じて重金属類溶出防止等のためキレート処理等を行う。
耐火レンガ、不定形耐火物(キャストブル)	ダイオキシン類濃度及び重金属類濃度に応じて産業廃棄物として適正に処理する。
汚水(高圧洗浄に伴い発生する洗浄水)	除染用仮設水処理設備にて適正に処理した後に下水道へ排除する。
保護具等	石綿含有建材除去作業に用いた保護具は、廃石綿として処理するものとする。 ダイオキシン類除染作業に用いた保護具は、特別管理産業廃棄物として適正に処理する。
コンクリートガラ、アスファルトガラ、木質系廃材	建設リサイクル法にしたがって、中間処理にて再利用とする。
建設混合廃棄物	発生の抑制に努め、発生した廃棄物は産業廃棄物として適正に処理する。
薬品類、油脂類	施設内に残置されている薬品類、油脂類は、産業廃棄物として適正に処理する。
鉄類、電線類	スクラップとして、処理する。
水銀(蛍光灯・水銀灯)	産業廃棄物として適正に処理する。
低濃度 PCB 含有電機機器	岡山市が指定する場所に保管する。
その他の残置物	産業廃棄物として適正に処理する。

第3節 解体撤去工事

事業者は解体撤去工事の実施に際し、下記の留意点及び重要事項を十分認識し工事を行うこと。また、焼却施設の解体撤去工事については、「ばく露防止対策要綱」等に従い、本節の記載を参考とし、適切な作業方法を盛り込んだ『解体撤去工事施工計画書』を作成し、所轄の労働基準監督署へ届出を行い、その写しを岡山市へ提出するものとする。

また、解体作業を行うに当たり、所轄の労働基準監督署の届出の受領及び指導に従い、追加作業や追加調査測定分析等が生じた場合、全て本件工事の工事範囲として適切に実施するものとする。このとき発生する追加費用に関しては事業者負担とし、変更契約は行わない。

5-3-1. 解体撤去工事フロー（参考）

解体撤去工事については、本件施設の建設を見据えた上で計画するものとする。図 5-3-1 に示す解体撤去工事フローを参考とし、施工計画を立てること。

岡南環境センター解体フロー

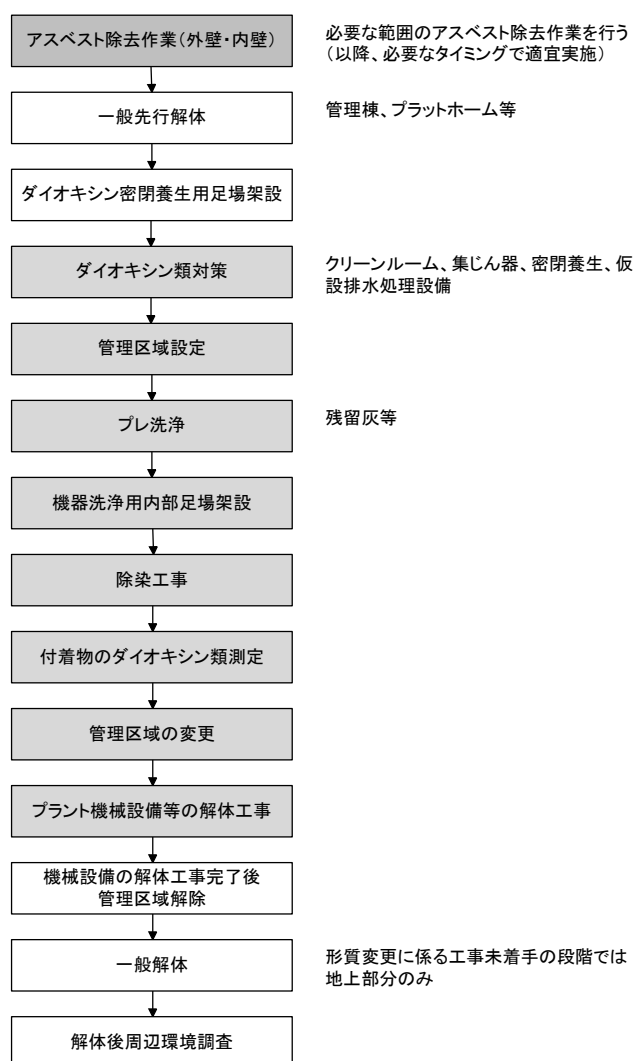


図 5-3-1 解体撤去工事フロー（参考）

5-3-2. 解体撤去工事の実施計画

1) 安全衛生管理体制の確立

安全な作業を行うため、労働安全衛生規則に定めるところにより、化学物質についての知識を有する者の中から作業指揮者を選任し、常時、現場において保護具の着用状況、粉じん発生源の湿潤化の確認等の指揮、監督を行うこと。

また、コンクリート工作物の解体は別途作業主任者を選任すること。その他労働安全衛生法に基づいて安全衛生管理者等の選任、安全協議会の設置及び運営等十分な管理体制にて実施すること。

2) 施工計画書の作成

(1) ダイオキシン類関係

事業者は、解体撤去工事開始前に「解体撤去工事施工計画書」（解体範囲、付着物除去作業方法、付着物除去結果の評価方法、作業の概要、使用する保護具類の内容及び管理の方法、除去した汚染物の管理方法等必要書類を含む）を作成し岡山市の承諾を得ること。

(2) 石綿関係

工事受注者は、解体撤去工事開始前に大気汚染防止法に基づき、事前調査計画書を作成し広島市の承諾を得ること。また、事前調査の結果は、広島市へ報告するとともに、調査結果を見やすい場所に掲示すること。

3) 解体撤去工事の計画届

解体撤去工事については、工事開始日の 14 日前までに、所定の様式に必要事項を記載して、必要書類を添付したのち所轄の労働基準監督署に遅滞なく届け出ること。

4) 特別教育の実施

(1) ダイオキシン類関係

作業員の安全教育を徹底すること。特にダイオキシン類に対する有害・有毒性の知識、対象施設のダイオキシン類濃度及び管理区分、ばく露防止対策、作業手順、保護具の使用と管理の方法、事故時の緊急措置等について十分な安全教育を実施すること。

特別教育は講習資格者による講習会を開き受講修了者に「講習修了証」を発行し、修了証を持たなければ作業をさせない等の厳重なる措置をとるようにすること。

(2) 石綿関係

事業者は、石綿含有製品の解体に従事する労働者に対し、石綿粉じんの発散の抑制や、保護具の使用方法について教育を行うこと。

5) 各種の記録の保存

サンプリング記録、分析結果、呼吸用保護具の使用記録、各作業記録、排気・排水の記録、教育に関する記録、汚染物及び石綿含有製品の搬出量及び適正処理・処分した記録等を保存すること。また、主要な記録は岡山市に報告すること。

6) 作業員の健康管理

工事に従事する作業員の健康管理を行うこと。万一、事故または保護具等の故障により、ダイオキシン類に汚染された場合、また、ダイオキシン類を吸入したおそれのある場合には遅滞なく医師の診察または適切な処置を行い、必要に応じて血中ダイオキシン類濃度測定を行うこと。これらは全て記録し保存しておくこと。

5-3-3. 解体撤去工事の安全対策

- 1) 事業者が実施する事前調査結果を用いて、管理区分の決定及び保護具の選定を行うこと。また、解体工法の詳細な検討を行うこと。ただし、設備の内部での付着物除去作業は、管理区域に関係なく全てレベル 3 の防護基準とすること。
- 2) ダイオキシン類分析結果等を関係する作業員に周知すること。
- 3) 防護服、各種保護具類は各作業管理区分に決められたレベルの保護具類を使用すること。
- 4) 作業前及び作業中の保護具の着用状況を確認すること。

- 5) 付着物除去作業及び機械設備解体作業を行う場合（管理区域設定期間中）には、作業区域を設定する。屋内の場合は、その管理区域に従って建屋隙間の目張り、シール等による密閉隔離または仮設構造物による密閉隔離を行うこと。また、屋外設備の場合には、当該箇所を仮設構造物（壁・天井等も含む）、防塵・防音パネル又はビニールシート養生により、管理区域毎に密閉隔離すること。
- 6) 管理区域内の作業場所では、作業中は内部を負圧（換気回数は4回/hを標準）にすると共に、換気装置、プレフィルター、HEPA フィルター及びチャコール（活性炭）フィルター等により適切な処理を行った上で、排出基準（ダイオキシン類大気環境基準）に従い、区画外へ排気すること。
- 7) 汚染物が付着した保護具等を外部へ持ち出しすることを禁止すること。汚染物の飛散防止を徹底し、作業場の換気、作業場への出入り時の汚染物の除去（エアーシャワー、温水シャワー、靴付着物除去用設備等）、保護具等の着脱等は、「ばく露防止対策要綱」、「廃棄物処理施設解体時等の石綿飛散防止対策マニュアル」に従い計画し実施すること。
- 8) 解体作業中（一般解体は除く）の粉じん濃度は、連続測定し、報告及び記録すると共に、急に数値が上昇する等の異常があった場合には、直ちに対策を講じること。
- 9) 汚染された作業服、保護具の保管、管理を徹底すること。
- 10) 仮設囲い（パネル1.8m以上）を設けること。枠組み足場は手摺先行足場とする。必要箇所を防音パネル、防炎シート、養生ネットを設置する。
- 11) 作業区分を設定している仮設構造物の中は、飛散した汚染物が土壌に染み込まないように対策を行うこと。
- 12) パッキン類は、非飛散性石綿として計画すること。
- 13) 石綿含有建材の可能性のある建材については、調査の上必要な飛散防止対策、保護具の着用、作業方法、処分方法等について関連法令に従い解体撤去工事を行うこと。または、石綿含有の有無について判断が付かないものは、石綿があるものとみなして計画すること。
- 14) PCBについては、適正な取り扱うものとする。PCBの含有の恐れのある電気機器等についてPCBの有無について調査した結果、0.5mg/kg以上PCBの含有する機器があった場合においては岡山市が指定する場所へ保管基準に必要な措置を講じ保管すること。
- 15) フロン類については、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき、適正に取り扱うものとする。

5-3-3. 仮設工事

5-3-3-1. 密閉養生及び流出防止対策

ダイオキシン類汚染部エリアの汚染物等が管理区域外に漏出しないよう、汚染区域を建屋の内外から密閉養生行う。また、床は洗浄水等が流出しないよう措置をするものとする

5-3-3-2. 仮設集じん設備の設置と運用

ダイオキシン類で汚染された管理区域と非汚染エリアと隔離して作業を行うため、その隔離状態を適切に維持するため管理区域側を常に負圧状態に維持する必要がある。このため、管理区域内の作業場を負圧に維持し、外部への粉じん・ガスの飛散を防止し、また作業環境を良好に維持することを目的に仮設集じん設備を設置・運用する。

なお、換気回数は時間4回以上を標準とすることとし、設備能力には十分余裕を持たせ、適切な換気能力を確保すること。また、管理区域設定中は24時間負圧状態を保つものとし、必要に応じて局所集じんを行うものとする。仮設集じん設備は、防音措置としてサイレンサー及び必要に応じて周囲を囲む等の措置を講じること。

（仕様）

- ① フィルター仕様 : プレフィルタ、チャコールフィルタ、HEPA フィルタの組合せ
- ② ダスト払落し方式 : パルスジェット方式
- ③ 管理区域内換気回数 : 4回/h以上

- ④ その他 : サイレンサー

5-3-3-3. 除染用仮設水処理設備

除染排水を処理する仮設水処理設備を設置・運用する。仮設水処理設備での処理機能については、油分処理、重金属不溶化処理、凝集沈殿処理、ダイオキシン類処理等を適切に具備すること。設備仕様及び処理フローについては、処理水を再度洗浄水として再利用できるものとし、下水道への放流排水量を最小化できるものであること。

処理原水もしくは処理水による土壌汚染等の二次汚染防止のため、貯留水の越流・雨水流入対策（屋内設置或いは屋根囲い等）及び地下浸透防止対策（設置場所の床設置・養生等）を施すこと。

5-3-3-4. 建屋内足場及び機器解体用足場

建屋内部足場及び機器内洗浄用足場は、ダイオキシン類汚染部に該当する部分でのダイオキシン類汚染物洗浄に使用し、必要に応じて設置し、単管又は枠組足場とする。

5-3-3-5. 解体ヤード及び前室

プラント設備の機器除染後、建屋内機器を解体及び煙突の耐火煉瓦再洗浄等に必要なヤードを設置し運用する。

（仕様）

- ① 外壁部分 : 枠組み足場、防音シート
- ② 屋根 : テント又はパネル
- ③ 内部 : ビニルシートの二重張り
- ④ 床 : RC 造（t 20cm 程度）
- ⑤ 出入り口 : 外部鋼製のシャッター
内部はシートシャッター（シャッター構造とする）
- ⑥ その他 : 移動洗車機、集水枡、照明、集じん機等

5-3-3-6. 解体発生材選別仮置きヤード

解体撤去工事で発生する各種産業廃棄物の選別及び一時保管場所を設置する。設置場所は、解体手順によるが、プラットホーム等の土間を活用するか、または外部に仮置きする場合は、コンクリート床、屋根等を設け、汚染物が流出しない措置を講じること。廃棄物等は、フレコンパック等に入れ、外部に露出しないようにする。

石綿含有廃棄物の仮置きに際しては、専用の区画された仮置きヤードを設け、飛散防止対策（湿潤化、シート掛け、袋詰め等）を施すこと。また、石綿含有廃棄物保管場所であることを表示すること。

5-3-3-7. クリーンルーム

除染作業用者の休憩室、更衣室、シャワー等を設け、重労働となる除染作業者の安全確保を図り、ダイオキシン類ばく露の未然防止のために作業員休憩所を兼ねたクリーンルームを設置する。前室及びエアシャワーは管理区域の境界に設置すること。

表 5-3-1 クリーンルームを構成する施設・設備の一例

施設・設備	必要備品
前室	足拭きマット(湿潤)
エアシャワー	
保護具脱着所	使用済保護具容器(密閉型)
保護具管理室	保護具専用ロッカー、乾燥機、洗濯機等
更衣室	ロッカー等
休憩室(喫煙所)	エアコン、テーブル、椅子、冷水器

5-3-4. 除染工事

汚染エリアの除染作業は管理区域に応じたレベルの保護具を使用すること。除染作業に先立ち、設備内の堆積物（焼却灰、集じん灰等）、残渣、貯留水、廃油等を先に取り出し、次に、除染作業に着手する。煙道、小配管等の洗浄が困難な箇所については、人力、機械を必要に応じて併用する。また、設備の中のみでなく、外表面や付属機器及び建屋の鉄骨部、床、壁等に付着している汚染物も除去すること。コンクリート面、鉄材料表面、耐火物表面等は付着物を残さないよう除去すること。

洗浄は原則として高圧洗浄水及びブラスト等（サンド、重曹等）を使用し汚染レベルに見合った除去方法で計画すること。また、事前に現地で試験（圧力等）を行い、洗浄効果を確認すること。

また、作業場所は粉じんの発生を防止するため常に湿潤状態を維持管理し、除去作業に使用した水は、集水したうえで、排水処理を行うこと。更に、外部への汚染物の飛散・拡散防止、作業員への影響、周辺地域への影響がないように作業場所を密閉養生し換気、除じん等に留意すること。

1) 管理区域内プレ洗浄

機器等の高圧水除染前に機器内部の残灰（焼却炉内、ボイラ、空気予熱器、電気集じん機、誘引送風機、ガス吸収塔、煙道、煙突下部等）を飛散しないよう湿潤化しバキューム等で除去するものとする。（プレ洗浄）

2) 機器洗浄

原則人力での施工であるが、手の届かないところは機械での施工とするものとする。外部も洗浄するものとする。

3) 耐火物洗浄：焼却炉、ボイラ

耐火物洗浄は高圧水を原則とするが強度が強く表面の汚染物を削除することが困難な場合はブラスト等を使用して洗浄する。

4) ダクト洗浄

各設備を結ぶダクトは人力及び機械洗浄で行う。ダクトの一部を開口して洗浄する。

5) 煙突洗浄

煙突下部から洗浄水が流出しないように事前に措置し、洗浄中は常時排水する。

6) 建屋ポスト洗浄

プラント設備の機器解体撤去の後、機器解体中の粉じんで再付着した汚染物を再度除染する。汚染濃度は大気環境基準値以下になるまで繰り返し洗浄を行うこと。天井など高所作業は高所作業車等を利用し除染する。

5-3-5. 汚染物除去等の確認とモニタリング

汚染物除去等の確認とモニタリング（環境調査）を目的として、以下の分析測定を実施する。

- ① 除染後の付着物
- ② 仮設集じん設備出口での粉じん濃度連続測定及びダイオキシン類測定
- ③ 除染用仮設水処理設備の処理水
- ④ 敷地境界での騒音・振動測定
- ⑤ 施工中・施工後の作業環境測定
- ⑥ 施工開始前・施工中の解体撤去工事終了時の周辺大気測定
- ⑦ 施工開始前・解体撤去終了時の周辺土壌の測定
- ⑧ その他の残留物（ダイオキシン類）

5-3-5-1. 除染後の付着物確認

付着物の除去作業が完了した後、付着物除去結果の検査（目視確認）を行い、付着物除去後の

ダイオキシン類の測定（汚染物のサンプリング調査箇所）、結果の記録、除去前後の写真撮影、評価記録を作成すること。ただし、付着物除去後サンプルの採取が不可能である場合及び汚染物のサンプリング調査結果が 250pg-TEQ/g 以下の場所のダイオキシン類の測定は必要ない。

機器及び建物に付着している汚染物が確実に除去されたかを確認するために、下表に示すサンプリングを行い、ダイオキシン類含有量の確認を行う。その他の鉄類は目視とする。

表 5-3-2 除染後の汚染状況確認

調査対象箇所名	調査対象物	数
焼却炉	炉壁耐火物	2
ボイラ	耐火物	2
電気集じん器	設備内	2
吸収塔	設備内	2
中間排水槽（無機系＋有機系）	コンクリート	1
排液貯留槽（洗煙系）	コンクリート	1
煙突	煙突外筒コンクリート	1
灰ピット	コンクリート	1
計		12 検体

5-3-5-2. 仮設集じん設備での連続監視と濃度測定

仮設集じん設備出口での粉じん濃度を管理区域設定から管理区域解除までの間、連続で監視する。管理区域内の空気中のダイオキシン類と粉じん濃度との相関で濃度監視と管理区域内の負圧管理を同時に行い、データを保持でき、リアルタイムに設計施工事業者現場事務所で監視できるシステムとする。また、施工前・施工中において、設備出口でダイオキシン類の測定を行うものとする。

5-3-5-3 除染用仮設水処理設備の処理水

除染用仮設水処理設備の処理水については、試運転中に 1 回、除染工事期間において 1 回/月以上の頻度にて表 1-6 に示す基準以下であることを公定法にて確認する。

また、処理水のダイオキシン類濃度についての日常管理については、SS を指標に管理するものとし、試運転段階において SS とダイオキシン類濃度の相関を測定し、濁度を常時自動モニタリングすること。なお、放流先は岡山市との協議による。

5-3-5-4. 敷地境界での騒音・振動測定

解体撤去工事期間中において比較的騒音・振動が大きい工種を選定し、4 箇所/回以上の公定法による確認を行う。

また、工事期間中の騒音・振動を連続測定する。

5-3-5-5. 施工中・施工後の作業環境測定

施工中（除染後）、施工後（機器解体後）に作業環境測定を行い、管理区域毎に空気中のダイオキシン類濃度を測定する。

また、石綿除去工事に際しても必要に応じて作業環境中の石綿の測定を実施する。

5-3-5-6. 施工開始前・施工中・解体撤去工事終了後の周辺大気測定

解体工事により環境へのばく露の影響の有無を確認・検証するため、施工前、施工中、解体終了後に敷地境界（4 箇所以上）の大気測定を実施する。測定項目は、ダイオキシン類、必要に応じてアスベストとする。施工中の測定頻度は、除染工事後の機器・建屋の解体工事において、主要機器、建屋の別に 1 回/以上実施する。

5-3-5-7. 施工開始前・解体撤去工事終了後の周辺土壌測定

解体撤去工事により環境へのばく露の影響の有無を調べるために、施工開始前に敷地境界（4箇所）に移入土を設置し、解体撤去工事終了後にダイオキシン類濃度を測定するものとする。移入土については、予めダイオキシン類濃度を測定しておくこと。

5-3-6. 解体工事

解体作業場の管理区分に基づき、『解体撤去工事施工計画書』に決められた方法により解体作業を行う。作業場所の粉じん飛散防止、防音等のための仮設、養生を行い、発じん防止対策、防音対策等に十分留意する。

なお、解体作業において、原則として溶断等の加熱作業は行わないこと。

原則として、レンガ、キャストブル、ライニング材を先に解体撤去し、次いで、躯体及び構造物材を解体するものとする。

5-3-6-1. 主要機器の解体

- (1) 解体作業中は適切な保護具を着用する。
- (2) 管理区域内の機器は人力あるいは機械（油圧式圧砕、せん断）工法又は超高压水等にて解体する。大きさは受入先の条件を満たす寸法とする。
- (3) 解体中は湿潤化を行い、粉じんの再浮遊を抑えること。

5-3-6-2. 石綿含有建材の解体

- (4) 「石綿障害予防規則」「大気汚染防止法」「労働安全衛生法」「廃棄物処理法」に基づいて解体作業を行うこと。
- (5) プラント設備では、各種高温水配管のパッキン、ガスケット、クレーン等のブレーキライニング、ブレーキパットがある。これら含有あるいは含有が疑わしいものは、その処理方法が分かれるため、パッキン類は非飛散性石綿として取り扱うものとし、その他は調査後に「廃棄物処理施設解体等の石綿飛散防止対策マニュアル」に従い、解体作業を行うものとする。

5-3-6-3. 汚染部分・非汚染部分の建屋・構造物等の解体

- (1) 汚染物を除去し、公定法にて安全確認ができた後、一般解体とする。
- (2) 外部の解体工事に際しては、散水を施し、周辺に粉じんが舞い上がらない様に十分に湿潤しながら解体する。なお、散水は専用の装置を必要数設置し、散水する。
- (3) その他の仕様は国土交通省「建築物解体工事共通仕様書・同解説」による。

5-3-6-4. 地下部分の構造物の解体

- (1) 地下部分の構造物については、解体に伴い、周辺環境へ影響を及ぼす恐れがあるもの及び本件施設の建設に有効利用ができるものは残置とする。
- (2) 必要に応じて土留め等の措置をする。土留め工については、仮設遮水壁を兼用してもよいものとするが、適切な支保工を施すこと。

5-3-6-5. 煙突解体

煙突の解体方法は提案によるものとするが、以下の条件を満たした工法で計画する。

（条件）

- 既存煙突高さ（59 m）以上の煙突で解体実績がある工法
- 無人化工法（洗浄、解体）
- 自動昇降式作業構台

5-3-6-6. 廃棄物処理（特定建設資材含む）

- 1) 一般事項

- (1) 解体撤去工事に伴い発生する廃棄物・資源物及び汚染土壌は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、土壌汚染対策法等関係法令に則り、設計施工事業者の責任において処理・処分すること。
 - (2) 各種廃棄物、各種有価物の搬出先、処理、処分方法を明示し、その設定根拠を明らかにすること。
 - (3) 重油、薬品類等は、機器より抜き取り処分すること。
 - (4) 残置している備品等については、岡山市が指示するもの以外は、処分すること。
- 2) 廃棄物・資源物及び汚染土壌
- (1) 発生材については、全て設計施工事業者の責任において廃棄物(廃棄物の種類毎に)、有価物(スクラップ等)、特定建設資材(コンクリート、アスファルト等)に分別し、場外搬出処分すること。なお、有価物の売り払いによる収益は、事業者に帰属する。
 - (2) 焼却灰、集じん灰等及び汚染物除去作業により除去された汚染物並びに仮設排水処理設備の汚泥の搬出にあたっては、予め汚染物の重金属類の溶出試験、ダイオキシン類の測定等を同一種類毎に実施し、分析結果を確認のうえ搬出すること。
 - (3) 耐火物等はすべて産業廃棄物として場外で処分すること。なお、耐火物は重金属を含んでいる場合があるので、分析の結果において重金属類が基準値を超える場合には不溶化処理等をした後、産業廃棄物として場外処分とする。耐火物を場外搬出する場合には、予め重金属類の溶出試験、ダイオキシン類の測定等を実施し、その結果により、処分先及び処分方法を決定すること。耐火物は、原則として管理型最終処分場で処分すること。
 - (4) 解体したコンクリートがらのダイオキシン類及び重金属類を測定し、ダイオキシン類濃度が環境基準の調査指標値 250pg-TEQ/g 以下で、且つ、重金属類が土壌汚染対策法の土壌環境基準値以下であれば、リサイクルすることが可能であるが、その基準値を超える場合には、その濃度に応じて、埋立処分等産業廃棄物として適切に処分すること。
 - (5) 建設リサイクル法に基づき、資材の再資源化を行うこと。
 - (6) 調査の結果判明した PCB 含有電気機器については、岡山市が指定する場所に保管する。
- 3) その他
- (1) 廃棄物及び有価物の運搬業者は、廃棄物処理法に則り許可を受けた者とする。
 - (2) 廃棄物及び有価物の各種毎に、搬入先を明らかにすること。
 - (3) 搬入する中間処理業者、再生処理業者、最終処分業者は、関係官庁の許可を受けた業者とする。
 - (4) 処理・処分が適正に行われるよう、管理・監督を行い、マニフェスト票(写し)を提出すること。
 - (5) 定期的に委託業者の処理状況を現地にて確認すること。
 - (6) 解体撤去工事は、廃棄物をその種類ごとに分別しつつ計画的に施工する分別解体とすること。
 - (7) 岡山市では施設内の什器・備品類を予め搬出除去するものとするが、仮に施設内に残留する什器・備品等(固定されていないもの)が発見された場合の取り扱いについては、次のとおりとする。
 - ① 家電リサイクル法等の法令対象品目については、岡山市が指定する場所に運搬・集積し、岡山市へ引き渡すこと。
 - ② 机や椅子など一般廃棄物に該当するものは、岡山市が指定する場所に運搬・集積し、岡山市へ引き渡すこと。
 - ③ 上記以外の残留物(プラント設備の予備品等含む)については、産業廃棄物として適正に処理・処分・再資源化すること。